

あけましておめでとうございます。みなさんの新年の抱負は何ですか。

落語家露の団姫さんから年賀状が届きました。一年の計は元旦にありと言いますが、新しい年をどう生きていくかの参考となります。新年のはじまりに是非お読み下さい。

2024

謹賀新年



たつ年は、自ら「立つ」1年に

落語家としてはプロですが…?

新年、明けましておめでとうございます。落語家で天台宗道心寺住職の露の団姫(つゆの・まるこ)と申します。私は日頃、落語家としては天満天神繁昌亭をはじめとする寄席の高座に上がり、僧侶としては自身のお寺でお悩み相談を行っています。つまり、落語家としてはプロですが、僧侶としてはアマ(尼)なのです。



プロフィール

- ・上方落語協会所属の落語家
 - ・天台宗不軽山道心寺住職
- 法華経が人生指針。古典落語、自作の仏教落語に取り組む。テレビ・ラジオでも活躍。昨年11月西成労働福祉センターで落語会を開催した。

露の団姫さん

仏教における「自立」とは

私たちは、「自立」と聞くと、「誰にも頼ることなく、一人で何でも出来る」「問題が起っても一人で解決できる」ことだと思いがちです。しかし、実はそれは「自立」ではなく「孤立」となる場合も少なくありません。では、「自立」とは何でしょうか。仏教における「自立」とは「共生」のことだといわれています。どのような人も、必ず他者との関わりの中から命を営んでいます。現代社会では、個人の努力だけではどうしようもできない問題が沢山ありますが、だからこそ、頼ったり、頼られたり、お互い様の精神で、助け合うことが大切です。

苦勞した人こそ、他者を癒すことができる

また、仏教には「慈悲」という言葉がありますが、慈悲の「悲」の語源となっている梵語の「カルナー」は「呻き」の意味を持ち、人生の痛苦に呻き嘆いたことのある者のみが、苦しみ悩んでいる者を真実に理解でき、同感して、その苦しみを癒すことができる、といわれています。そして、そのような「同苦の思いやり」を「悲」と呼び、これは高きから低きへ向かうものではなく、常に同じ高さにあるもの同士の間合いを重んずるという特徴を持っています。

私たちは長い人生の中で疲れ果て、ときには他者との関係を「断つ」ときもありま。しかし、人との交わりの中から、再び自ら「立つ」ことができるのが、人間の魅力ではないでしょうか。



昨年11月にセンターで開催した落語会

だからこそ、これまで苦勞してきた人は、心疲れた仲間を見かけたら、是非「大丈夫」と声掛けをしてください。その言葉は「慈悲」そのもので、他者に大きな力を与えるでしょう。でも、「大丈夫」という言葉で本当に大丈夫かって？大丈夫、大丈夫！大丈夫だからこそ、私たちの信じる教えを「ダイジョウブキョウ」と言っているのです☆



新年あけましておめでとうございます

昨年、「アレ」の実現で関西が活気づいた一年でありました。

センターでは、求人情報サイト「センターナビ」やライン友だち登録によるきめ細やかな求人情報の発信を行い、皆さまへのサービス向上に努めてまいりました。おかげさまでラインの登録は二百人を超え、情報を見て窓口で求職相談に来られた方が増えています。また、地域で増え続ける外国の方々への雇用者、雇用を検討する事業者に対し、就労支援を充実するため「登録支援機関」の申請を行い、承認されたところです。

令和六年は、高齢者や就労困難な若い方、女性、外国の方々のニーズに合った求人への開拓に力を入れ、「多彩なチャレンジができる まちの就労支援の拠点」をめざして一層励んでまいります。

今年の干支の甲辰(きのえたつ)は、新しいことを始めて成功する、いままです準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると考えられています。

センターも昨年度からの事業の芽を成長させ、地域の皆さまのお役に立てるよう取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

新しい年が皆さまにとりまして素晴らしい年であり、ますことを心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和六(二〇二四)年一月

公益財団法人 西成労働福祉センター

代表理事 小幡 斉





担当役所によるほぼ周知無しの行為に住民会議は怒り心頭だ!

無料結核健診

- 1月9日(火) 13:30~15:30 西成労働福祉センター(特掃登録)
- 1月16日(火) 13:30~15:00 阪堺電車沿い(萩之茶屋地域東部)
- 1月23日(火) 13:30~15:30 西成労働福祉センター(特掃登録)
- 1月30日(火) 10:00~11:30 萩之茶屋南公園(三角公園)南側
- 2月6日(火) 13:30~15:30 西成労働福祉センター(特掃登録)
- 2月13日(火) 13:30~15:45 西成労働福祉センター(特掃更新登録)

環境整備紹介日

業務内容	ゴミ収集 分別作業 および 地域内の不法投棄/パトロール 駐輪対策 など	
雇用期間	朝作業班	5日間
	昼作業班	6日間
	夜間巡回班	3日間
紹介時間	10時20分	
48回目	1月10日(水)	
49回目	1月16日(火)	
50回目	1月22日(月)	
51回目	1月26日(金)	

注)1月22日(月)は朝作業班の募集は行いません

仲間は今

建設日雇いから 介護職に



—自分を必要としてくれる人がいたから ここまで続けられました—



センターにお世話になりだしたのは、13年前になります。建設ではこの先食っていけないなと思って、資格をとって転職しようと考えました。

田舎にいた頃、父の介護をする母の姿を見たのが、介護に興味を持ったきっかけです。

センターの介護体験講習やヘルパー講習を受講しました。

受講中のレポート作成も、資格取得後の就職活動も、すいぶん苦労しました。何かあるたびセンターにお邪魔して、辞書を貸りたり、悩みを聞いてもらったりと、あれこれお世話になりました。係員のみなさんに励ましてもらえたのが、本当にありがたかったです。

気が付けば
ヘルパー歴は13年

センターの常任化支援を受けて、介護職に転職したAさん(64歳)が久しぶりに窓口に顔を見せてくれました。これまでの苦労や近況について、お話を伺いました。

様々な介護現場で働き続けて

資格をとって最初に採用されたのは訪問介護の事業所でした。そこで4ヶ月ほど働いてから、グループホームに転職しました。おむつ交換等、身体介護の経験を積みだしたからです。

その後は、特別養護老人ホームでも働きました。20床も30床もある施設だったので、体力的にとても大変でした。お客さん全員のおむつを交換して回ったら、ふらふらになるくらいでした。

今は、単身高齢者マンションの介護現場で正社員として勤めています。5年目になります。

朝8時から夕方5時まで、7人ほどを担当して、掃除や食事の準備、おむつ交換や清拭(体を拭く)をしています。

認知症の人たちとの関わりの中で思うこと

この仕事をしてくれてよく思うことは、介護を受ける人が何でもやってもらおうと、こちらに頼ってくる人があります。

利用者から感謝されるのが一番のやり甲斐

相手には「まずは自分でやってみて。何でもやってもらっていたら動けなくなるよ」と言っていて、自分でできることはこちらが先に手を出さず、できるだけやってもらおうように声をかけているんです。

最近、認知症の人たちに関わっていて、食事が済んでいるのにまだ食べていないと言われると「そうわかっただけの人にきちんと言えておくれ」と必ず相手が言っていることを否定しないようにしています。

釜ヶ崎日誌

たずね人

- 松山 卓良さん(長崎県) 39歳
- 清水 光信さん(大阪府) 50歳
- 姫井 康正さん(山口県) 43歳
- 屋敷 茂雄さん(北海道) 47歳
- 岡 正男さん(大分県) 67歳

投稿

新年を
幸福(しあわせ)感の
年にする
有り難度う
持掃有りて
楽しめる
北海 護